

子ども臨床基礎演習Ⅱ

2024年度（令和6年度）

評価項目	A	B	C	D
1.現代社会における子どもたちと育ちをめぐる諸課題を理解する(B)	現代社会における子どもたちと育ちをめぐる諸課題を的確に理解できる。	現代社会における子どもたちと育ちをめぐる諸課題を理解することができる。	現代社会における子どもたちと育ちをめぐる諸課題をある程度理解することができる。	現代社会における子どもたちと育ちをめぐる諸課題を理解できない。
2.子どもたちの育ちを支援する多様な実践の場と実践概要を理解する(C-1)	子どもたちの育ちを支援する多様な実践の場と実践概要を的確に理解できる。	子どもたちの育ちを支援する多様な実践の場と実践概要を理解できる。	子どもたちの育ちを支援する多様な実践の場と実践概要をある程度理解できる。	子どもたちの育ちを支援する多様な実践の場と実践概要を理解することができない。
3.幼児教育者になるための学びへの構えとなる視点と姿勢を形成する(F)	幼児教育者になるための学びへの構えとなる視点と姿勢を的確に形成することができる。	幼児教育者になるための学びへの構えとなる視点と姿勢を形成することができる。	幼児教育者になるための学びへの構えとなる視点と姿勢をある程度形成することができる。	幼児教育者になるための学びへの構えとなる視点と姿勢を形成することができない。

※原則として、1つでもDに該当する場合は不合格とする

■ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

B【倫理観】幼児教育・保育に携わる専門的職業人として、幅広く社会に貢献するために必要な倫理観と豊かな人間性を身に付けている。

C-1【専門的知識・技能1】幼児教育・保育の専門職として、幅広く社会に貢献するために必要な専門的知識と技能を身に付けている。

F【コミュニケーション】地域の様々な人との交流から学び、課題に対して主体的に介入できるコミュニケーションの技術を身に付けている。